



## 特集

# 元気いっぱい、北海道で研修 —JICA日系研修員たちに聞きました—

世界各地に暮らす日系人は、多くの場合居住国において日系社会を形成し、日本語教育や日本文化の次世代への継承に積極的に取り組んでいます。中南米の場合、移住地等の日系社会は、居住国の経済発展のために重要な役割を果たしています。

JICAでは、中南米の日系人への技術協力を通じて国づくりに貢献し、また、日系研修員の受入れを通じて中南米日系社会を支援することを目的に研修の機会を設けています。平成20年度、JICA札幌では大学、専門学校など計11機関で全20名の研修受入中です。

例年より10日も早かったサクラの開花で「お花見」の話題も出た土曜日の昼前、各コースで研修中の研修員6名（1名は当日都合により欠席）に話をお聞きした。〔4月19日（土）JICA札幌にて〕

### 今回研修を通して一番の感想はどのようなことですか？



岩永 芳美 (ボリビア)  
1982年生まれ  
(学) 養園学園 札幌情報未来専門学校「CGアニメーター養成」を研修中(2007.10-2008.9)  
2世。父は新潟県、母は長崎県出身  
ボリビア・サンファン移住区

#### 岩永芳美さん(ボリビア・サンタクルス市出身)

研修をはじめてちょうど半年になります。自分の街では雪が降らないので見るのも触るのも初めてで、初雪には凄くはしゃいでしまいました。センターの中庭で雪だるまやカマクラを作ったり、雪合戦などをして遊びました。2月の雪祭りは最高でした。四季がはっきりしているのも楽しいと思いました。

#### 高田 一 ホドリゴさん(ブラジル・レシフェ市出身)

札幌医科大学で研修しています。みんな優しいし、楽しく勉強しています。特に困ったことはありません。



高田 一 ホドリゴ (ブラジル)  
1979年生まれ  
札幌医科大学で「理学療法学」を研修中(2007.7-2008.6)  
2世。父は岡山県出身、母は日系2世

#### 森下 サンドロ・ジュンキさん(ブラジル・ロンドリーナ市出身)

まわりのスタッフのおかげで生活はうまくいってます。研修ではいろいろな技術を覚えられて楽しいです。

#### 三宅みのりさん(ブラジル・レシフェ市出身)

昨年10月に札幌に着いた時の紅葉や、雪景色がきれいだと思いましたが、元日にJRタワーから初日の出が見られたことが一番の思い出になると思います。

#### 長谷川 エドアルドさん(ブラジル・サンパウロ市出身)

何と言っても日本語が難しいです。楽しかったのは旅行と、1年間いて多くの人々に出会って仲良くなり、たくさんの思い出ができたことです。

#### 山本明菜さん(ボリビア・インフォカル市出身)

初めて研修先の学校に行った時、ショーケースに飾ってあった生徒の作ったゴージャスな洋服を見て気持ちがワクワクしたことは忘れられません。同じ夢に向かっている人たちにも出会えました。ファッションショーの思い出や、試験を受けたりの充実した日々を送って日本に来て良かったと思っています。



森下 サンドロ・ジュンキ (ブラジル)  
1978年生まれ  
(株)北海道日建設計で「建築設計(意匠・設備・構造)および監理」を研修中(2007.7-2008.6)  
3世。父は静岡県、母は兵庫県出身

### 札幌で楽しく過ごされたそうですね。JICAの国際センターでの生活はどのような点が良かったですか？

岩永さん 何となく居心地が良い所です。スタッフ、食堂の職員、警備員さんたち、皆いい人たちです。大通公園に行きやすいのも嬉しいですね。欲を言えばもう少し駅に近ければよかった。

高田さん とても楽しいです。いろいろ参加できるイベントがあって良いと思います。

森下さん 札幌はきれいで住みよい所だと思います。このセンターではいろいろな国から来た人たちと話してきて世界は本当に広いと感じます。面白いです。

三宅さん ちょっと歩けば、近くにコンビニ、スーパーマーケットなどがあるし、スポーツをするのが好きなので隣に「リフレサポロ」があるので便利です。フロントの前にあるコンピューターは24時間使えるのすごく助かります。



三宅 みのり (ブラジル、日本国籍)  
1976年生まれ  
(学) 養園学園 札幌情報未来専門学校「CGアニメーター養成」を研修中(2007.10-2008.9)  
18歳時に日本国籍に。弟妹はブラジル国籍。父は大学卒業後に渡泊、母は福岡県出身で10歳時に移住。